

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	交通安全施設等整備事業（自転車道歩行者道設置工事）					
地区名	一般県道 本郷美合停車場線					
事業箇所	岡崎市美合町地内					
事業のあらまし	本路線は、岡崎市南東部に位置する名鉄美合駅の西を南北に走る道路で、駅付近は、古くから市街地を形成しており、道路の両脇には商店街が立ち並んでいる。こうした中、駅の乗降客による歩行者及び自転車利用者は非常に多く、踏切部では自動車と歩行者等は危険な状況となっている。また、この地区に県立養護学校が新設され、生徒の通学路となることから歩行者等の安全確保を早急に実施する必要があるため、自転車歩行者道の設置を行い、歩行者等の安全を確保するものである。					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> 駅と住宅街を結ぶ連続した歩行空間を整備し、歩行者・自転車交通の安全性と快適性の向上を図る。 （交通死傷事故の削減）					
	<p>【副次目標】</p> なし					
事業費	事業費		内訳			
	2.23 億円		□工事費 1.05 億円、□用補費 1.05 億円、□その他 0.13 億円			
事業期間	採択年度	平成 20 年度	着工年度	平成 20 年度	完成年度	平成 21 年度
	自転車歩行者道設置工事 延長 L=119m W=3.5m（自歩道部） 防護柵工 L=49m、排水工 L=204m、歩道境界ブロック工 L=90m、 舗装工 A=345㎡、区画線設置工 N=1 式、踏切幅工 N=1 式					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> 自転車歩行者道を整備したことにより、歩行空間が整備され、歩行者・自転車交通の安全性と快適性が向上した。 <p>【達成状況に対する評価】</p> ①工事実施前（H15～H19）と事業実施後（H22～H24）の交通事故の発生状況を比較すると、「年平均死傷事故件数」は、0.4 件から 0 件へと減少した。また、交通量を加味して交通事故の発生割合をしめす「死傷事故率」は、70.8 件/億台キロから 0 件/億台キロへと削減した。 このことから、交通死傷事故の削減について当初の目的を達成していると考ええる。 ②歩道が整備され、物理的に歩車分離が図られ、通学児童を始めとした歩行者の通行の安全性・快適性が向上した。				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> - <p>【達成状況に対する評価】</p> -				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	初期の事業目的を達成し、事故件数が削減しており、安心・安全な自転車歩行者道が整備されている。 このことから今後の事後評価の必要性ないと考ええる。					
改善措置の必要性	上記のとおり、初期の事業目的を達成しているため、改善の措置は必要性ないと考ええる。					

同種事業に反映すべき事項	本事業は踏切拡幅を伴う自転車道歩行者道設置事業であり、事業を遅滞なく進めるにあたり、鉄道会社との協議、調整が大変重要である。
--------------	--